

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問（全員が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

会派名など	質問者数
水曜会	5人
公明党	4人
誠勇会	4人
日本共産党	2人
市民連合	2人
新政クラブ	1人
無所属	2人

防犯カメラの設置を推進しては



高田 健司
水曜会

近年、本市でも、窃盗、ひつたくり、ストーカー、痴漢行為、恐喝、暴行、連れ去り、器物損壊、振り込め詐欺、車上ねらい等が頻発する傾向にある。これらの犯罪を未然に防ぐため防犯カメラの設置が有効である。



大田 祐介
水曜会

③よりおいしい水をつくるための工夫は。

答

①24年度までの3年間で管理棟、ろ過池などを建設し、現在

ろ過池機械設備の設置、導水管と送水管の布設を行つており、全体

の約40%が終了している。

②現行の緩速ろ過方式ではマンガンの除去に限界があるため、急速ろ過方式に変更した。

③浄水処理工程に残留塩素の監視装置を設置し、塩素注入量の低減化を図る。

と考える。
①設置の効果は。
②設置に当たり課題や問題点はあると認識している。

①犯罪の発生に対する抑止効果が大きく、犯罪発生後の犯人の特定等、警察活動に資する役割もあると認識している。

②費用対効果やプライバシーへの配慮などから、その必要性を明確にし、適正な管理・運用が必要と考えるが、今後、安心・安全なまちづくりをさらに進めていく上で防犯カメラが果たす役割は大きく積極的に活用を図っていく。

牛海绵状脑症（BSE）全頭検査の見直しは



早川 佳行
水曜会

国は全国一斉の全頭検査の廃止に向けて関係自治体に調整を図つており、食肉衛生検査所を所管する全国75自治体のほとんどが全頭検査を見直す方向である。

こうした状況で、市独自に全頭検査を継続することは、かえって消費者の不審と混乱を招く恐れがあるため、本巣市としてもBSE全頭検査を見直すべき状況にあると考える。

答

全国の都道府県は7月以降、全頭検査を継続しない方向だが、本市の対応は。

25年5月末の国際獣疫事務局総会で、日本はBSEリスクについて最も安全な「無視できるリスクの国」に格上げされた。

出原浄水場の施設更新工事



大田 祐介
水曜会

出原浄水場は、芦田川の伏流水を取水して緩速ろ過方式で処理した水を市内中心部へ給水していたが、施設の老朽化により、22年度から6カ年計画で施設更新が行われている。

①工事の進捗状況は。
②ろ過方式を変更した理由は。

答

①24年度までの3年間で管理棟、ろ過池などを建設し、現在ろ過池機械設備の設置、導水管と送水管の布設を行つており、全体の約40%が終了している。

②現行の緩速ろ過方式ではマンガンの除去に限界があるため、急速ろ過方式に変更した。

③浄水処理工程に残留塩素の監視装置を設置し、塩素注入量の低減化を図る。

※緩速ろ過方式：細かな砂の層に1日4~5メートルのゆっくりとした速さで水を通し、砂層に存在する微生物の分解作用によって水の中の浮遊物などを取り除く、水の浄水方法。※急速ろ過方式：緩速ろ過よりも粗い砂を用い、緩速ろ過の30倍程度の早さでろ過するもので、狭いろ過面積で大量の水を処理できる。